

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コロニー児童デイサービスのぼりかわ		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 27日		～ R7年 2月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	R7年 2月 7日		～ R7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムを考案する際は、指導員と専門職も含め話し合いを行っています。	職員全体で活動のミーティングを行い、児童が慣れ親しんだ活動と新しい試みの行事等をいれるようにしております。 また、専門職主体の活動も組み込み集団訓練として取り組んでいます。	職員が新しく得た情報を共有し、新たな活動として取入れていく。新しくチャレンジする行事や活動は、念入りに話し合いを行い、安全に行えるように心がけていきたいです。
2	職員1人1人が児童の支援内容を意識して日々の支援にたずさわり、細かな変化に築けるような体制をとっている。	児童の課題や支援内容を一枚の表にまとめております。現場の近くに掲示し、いつでも支援者が意識して支援に取り組めるよう工夫している。 また、支援記録がとれるよう備考欄を設けているので随時情報をとる事ができます。	支援内容の気になる点や、できた点を記録に残し、それ以外の事でも職員全体で共有したい。
3	児童が主体的になって日々の活動プログラムに参加できている。	ホワイトボードにその日のスケジュールを記載し見通しをつけてもらっている。 また、月の活動を掲示し今後の活動を確認できるようにしています。	一部の活動の内容を児童と一緒に考えていく場を設ける。例えば、行きたい場所や体験したい事やデイ内でみんなで挑戦してみたい事などの発信をひろっていただけたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子供たちや学童クラブとの交流が少ない。	これまでは交流する機会や情報が不足しており、そういう場を設ける事ができなかった。	これまでよりもさらに情報集めや、繋がりを持つことに力をいれていく必要がある。
2	業務の後の振り返りや反省会が少ない。	少人数の共有は細かく行ってはいるが、全員に共有する場を設けるあまり時間がなかった。 月に一度行っている全体ミーティングで共有事は足りていると思っていました。	業務終了後に振り返りを行う場を設ける。 また気づいた事や今後の支援に繋がる情報交換など行っていきたいと思っています。
3			